

# 第 155 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 30 年 4 月 24 日（火） 13：30～15：20

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員（欠席）

事務局 佐々木部長 古森課長 湯浅室長（代理：曾利係長）

市原課長 牛尾室長 村木課長（代理：古城係長）

長見所長（代理：有福副参事） 外浦課長 村瀧室長

原田分室長 佐々尾分室長 三浦分室長 小松分室長（欠席）

書記：日ノ原係長 木谷主事

## 議事

### 1 教育長報告

### 2 議題

- (1) 公民館職員の選任について（資料 1）
- (2) 教育委員会学校訪問について（資料 2）

### 3 部長・課長等報告事項

### 4 その他

- (1) 各課年間スケジュールについて（資料 13）
- (2) その他

### 1 教育長報告

石本教育長

4 月 9 日（月）未明、大田市を震源とする大きな地震があった。いよいよ一学期がスタートする日の朝で心配したが、浜田市内は大きな被害もなく、学校も予定どおり始業式を迎えて、早いところはその日のうちに入学式もあり、予定どおり進んでいる。大田市では、9 日、10 日の 2 日間学校が休校になり始業式が 11 日になったと伺っている。道路の陥没もある様で、屋根そして壁等の崩落、そういったものもあったということで、まだまだ通常の生活に戻るには時間がかかるということをこの前大田の教育長が言っておられた。一日も早い復興をお祈りしたい。それでは資料に基づいて報告をさせていただきます。

① 3 月 19 日（月）154 回浜田市教育委員会定例会（2 階会議室）  
前回の定例会を 3 月 19 日に開催をした。

② 3 月 20 日（火）卒業式（周布小、旭小）

3 月 20 日、残っていた周布小と旭小の卒業式が行われた。

旭小には藤本委員に出席をしていただいた。周布小には私が出席をした。

③ 3月24日(土)河野英喜写真展オープニングセレモニー (世界こども美術館)

河野英喜さんの写真展が開催をされるということで、オープニングセレモニーがあった。河野英喜さん、浜田出身の方で50歳になられるのではと思うのだが、第三中学校を卒業されて、その後写真家になられた方である。広告をベースにした写真活動を行っておられ、女優のグラビア等も撮影をされているということで、第一線で活躍をされている写真家である。昨年度は女優の広瀬すずさん、アリスさん姉妹の写真集を撮影したといった様なことなので、本当に第一線で活躍されている写真家である。

浜田出身ということもあり、柿田面工房の息子さんと1歳違いで、柿田さんのところには子供の頃から何度も行っておられた様である。今回は神楽面を中心とした石見神楽の写真30点ばかりの展示があった。

そういったオープニングセレモニーに出席をさせていただいた。展覧会そのものは3月24日から4月15日まで、こども美術館の3階多目的ホールの奥にある展示室で開催をされていた。

④ 3月25日(日)市民ミュージカル「コーヒーと共に生きた男・三浦義武」(石央文化ホール)

市民ミュージカル「コーヒーと共に生きた男・三浦義武」が25日と書いてあるが、25日午後からあった。前日の24日の夜にも同じ公演があり、2回公演をされたということである。

今日は欠席しているが村木課長が、実は出演しており演技よりも演技の前に前説があり、そちらでコメントをしたがコミカルな掛け合いをしていてどちらも面白かったなという感想を持った。

かなりの方が見に行っておられた。2日間で1,000人ぐらいということで、市民ミュージカルは色々なことをやっているが、必ず多くの方が集まられるということで市民の関心が高いんだなと思っている。

⑤ 3月27日(火)JAいわみ中央女性部・小中学校への雑巾贈呈式(教育長室)

これは毎年いただいている。JAしまねいわみ中央女性部の  
方々が手作りをされた雑巾を、小中学校に贈呈をされるという  
ことで贈呈式を行ったところである。

JAしまねいわみ中央女性部の方もだんだん部員が少なく  
なっておられるということで、以前は、多い時には600枚ぐら  
いの雑巾をいただいていた時期もあるが、今年度は450枚の雑  
巾をいただき、早速各小中学校に配布をしたところである。

⑥ 3月27日（火）全国小学生ソフトテニス大会出場報告（教育  
委員室）

全国小学生ソフトテニス大会に出場する4名の児童が報告  
に来られた。国府小学校、雲雀丘小学校、石見小学校の男子2  
名、女子2名の選手が全国大会に出場した。残念ながら決勝ト  
ーナメントには進めなかったということだが、予選のリーグ戦  
でも何回かは勝ったといった様な話も保護者の方から聞いた  
ところである。

⑦ 3月30日（金）教育委員会退職辞令交付式（教育長室）

平成29年度の最後の勤務日ということで、資料にある様に  
退職辞令交付の関係が続いている。

⑧ 3月30日（金）教職員退職辞令交付式及び感謝状贈呈式（浜  
田公民館）

教職員の退職辞令交付式、それから感謝状の贈呈式が行われ  
た。委員方にも出席をしていただいて、その後の昼食会にも参  
加をしていただいた。ありがとうございました。

⑨ 3月30日（金）退任公民館長及び公民館主事感謝状贈呈式（教  
育委員会）

3月末で退任をされる公民館長と公民館主事には長年勤務  
された勤務ベースがあり、それをクリアされた方に対しては感  
謝状を贈呈したところである。

⑩ 3月31日（土）第14回梨田昌孝杯浜田市学童軟式野球大会（三  
隅中央公園）

3月31日と4月1日の2日間、第14回目になる梨田昌孝杯  
浜田市学童軟式野球大会が三隅中央公園を中心に開催をされ  
た。

⑪ 4月2日（月）教育委員会・教育長辞令交付式（市長室）

私事であるが、教育長の辞令を市長からいただいた。また3  
年間よろしくお願ひしたい。

- ⑫ 4月3日（火）教職員辞令交付式・管理職着任式・新規採用職員宣誓式（浜田公民館）

委員方にご出席をいただき、今年度の教職員の辞令交付式、管理職の着任式、新規採用職員宣誓式を行った。

- ⑬ 4月5日（木）防犯グッズ及びランドセルカバー贈呈式（浜田公民館）

毎年いただいている防犯グッズの贈呈式が行われた。危険を知らせる笛、それから黄色いランドセルカバーを1年生がつけているが、そういったものをいただいた。

今年の新1年生は浜田市内425名いるが、入学式の日に渡せる様に早速各小学校に配布をしたところである。防犯グッズは、ライオンズクラブ、それから青少年健全育成連絡協議会の方々、そして補導員の連絡会の方々、そういったところから贈呈していただいている。ランドセルカバーについては浜田交通安全協会からいただいたものである。

- ⑭ 4月9日（月）島根県西部地方強い地震発生（大田市震度5強・浜田市震度4）

先ほどあった様に地震が発生した。

- ⑮ 4月9日（月）入学式（金城中、弥栄中）

2校で入学式が行われた。

- ⑯ 4月10日入学式（全小学校、第一中、第二中、第三中、第四中、浜田東中、旭中、三隅中）

ほとんどの学校が入学式を行なっているところである。

- ⑰ 4月11日（水）入園式（石見幼、長浜幼、美川幼）

石見幼稚園、長浜幼稚園、美川幼稚園の3園の入園式が行われた。それぞれ委員方にも各学校、幼稚園に出向いていただき、本当にありがとうございました。

残念ながら4月11日の入園式に原井幼稚園の名前がないが、今年は1人も新しい入園者がいなかった。現在、原井幼稚園は5歳児が2名だけで平成30年度をスタートしている。

また今後のことも十分検討する必要がある。なぜ2名になったのかをまた検証する必要があると思っている。

- ⑱ 4月11日（水）浜田市校長会（中央図書館）

11日には校長会があった。

- ⑲ 4月12日（木）浜田市園長会（原井幼稚園）

12日には園長会があった。

⑳ 4月13日（金）浜田市教頭会（県立体育館）

13日には教頭会があり、年度当初の会議なのでそれぞれ出席をさせていただき、教育委員会としての思いを皆様方にお話しをしたところである。

特にその中でも4月3日、教職員辞令交付式での教育委員会の挨拶の中で「今、浜田市の教育委員会が取り組んでいること」を今一度確認をするために、それぞれの会議でお話をさせていただいた。

併せて、働き方改革の1つだが、今年度は8月11日から8月15日までの5日間については学校閉庁日ということにして、この期間は日直ももちろんおかない。そして中学校の部活動も、よほどその後に中国大会とか全国大会を控えていなければ基本的には行わない。その後すぐ全国中学校体育大会があるため、それに出る方は部活動をやらしてもらわないと困るかもしれないが、原則として行わないといった様な方向を、お示しをしているところである。

これは浜田市だけの取組ではなく浜田教育事務所管内、三市三町ある中で統一した取組をしようということで決めたものである。

それぞれ校長会、園長会、教頭会で既にお話をしているが、正式な通知というのは5月の校長会の時に配布をさせていただく。5日間休むことになるが、今年の場合で言うと、山の日があり、土日も含むため、実際に出勤しなければならない時に閉庁にするというのは、今年は3日間の予定である。トータルで5日間休みとなるが、その扱いとしては年休または夏季休暇をその期間取得をしていただくということになる。強制的に年休か夏季休暇をお願いするという事で少し反対の意見もあるかと思ったが、今のところはそういった意見は出てきていない。5日間ゆっくり休みたいという様な思いが学校の先生方にも強いのかなという気がしている。そういった取組を今年はやらせていただくことにしている。

㉑ 4月15日（日）上府自治区公民館開館祝賀会（上府町）

それから15日、上府自治公民館開館の祝賀会が開催された。旧上府小学校の講堂の上に自治公民館があったが、学校の解体とともに無くなっていた。3年間地域の方々に、ご不便をおかけしたが、新たに統合を条件ではあるが、地域の方から上府の

自治公民館を作ってほしいという要望があり、川崎製材の裏のところに、川崎製材の土地を分けていただき、立派な自治公民館を市で建てたところである。その祝賀会に参加させていただいた。

そして、学校統合の関係で約束をしているが、まだ整備が終わっていないというのがまだ少し残っている。

有福小学校の後を有福の分館にするが、工事については今年度と来年度で行うことにしている。

後野小学校は旧校舎を使って今は分館として運営していただいているが、講堂部分が大変古くて少し危険だということで、講堂だけを建て替えて欲しいと当時地元からの要望で挙がっていた。これは平成33年度までに建てるということに住民の方と約束しているので、これについても早急に地元との協議を重ねて平成33年度までには完成するという進めていきたいと思っている。

⑳ 4月17日（火）平成30年度全国学力調査・学習状況調査実施

今年度の全国学力調査、学習状況調査が行われた。今年の6年生は、5年生の時の県の学力調査で少し成績が悪かったので多少の心配はしていたが、おそらく1、2、3月で頑張ってくれて、良い成績だったのではないかと思っている。最後まで諦めずに取り組んでいる。

㉑ 4月19日（木）平成30年度三市三町教育長会総会（パレットごうつ）

4月19日、20日の2日間で、三市三町の教育長会総会が江津であった。石見智翠館高校の視察を行い、特に智翠館コースという進学するための特別クラスを中心に、見学をさせていただいた。

教室の広さは狭いかもしれないが、1クラス20人を定員にしているということで少数精鋭であり、1学年2クラスまで、1年生は2クラスあった。2年生は1クラスずつで22人と10数人しか生徒がいなかったが、やはり、少人数なので授業中に先生が説明をされて分からないことがあれば、生徒が手を上げて「そこ分かりません」と自由に言っていた。すごく先生と生徒の距離が短いというか、分からないことをすぐその場で聞くという姿勢が見受けられて、こういうことを積み重ねていったら学力は確かにつくだろうと感じたところである。江津市内の

生徒が3分の1で、浜田からは4分の1ぐらい、それから松江・出雲からも生徒が1割ぐらい来ているらしいが、松江・出雲の場合は高い割合で開業医の子どもが来られているという説明を聞いたところである。

教員を集めてくるのにも、昔は確かに地元の方だけだったらしいが、今は全国から教員を集めていると言っておられた。教科指導も当然できて尚且つ特定の部活動を指導できる先生を全国から探してくると話しておられた。

そのため、智翠館コースの先生は、夜も教えておられると巷では聞いたが、先生方は部活動の指導もしておられて、部活動後の7時頃から戻って教えておられるのかどうか分からないが、とにかく「教科指導だけではなく、部活動の指導もできる先生をうちは採用します」と校長先生からお話があった。非常にスポーツにも勉強にも頑張っておられて、確かに今人気がどんどん出ている、そういったことを裏付けると感じた。

②4 4月23日(月)平成30年度浜田市スポーツ推進委員連絡協議会・全体会(2階会議室)

平成30年度スポーツ推進委員連絡協議会、全体会議が開催された。ちょうどスポーツ委員方の委嘱替えの時期でもあり、30年度、31年度の2か年の委員を委嘱したところである。36名のスポーツ推進委員がおられる中で、今回は10名の方を新規で委嘱をした。若い方もおられて年齢のバランス、それから長い方短い方そういったバランスも取れて良い体制になったと感じている。会長には金城自治区の梶原さんがなられた。梶原さんはスポーツ推進委員になられて31年目である。そういう方もおられる。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

1つ2つお尋ねしたい。まず最初に寺戸伸近さんとはどういう方か。

金本委員

キックボクサーである。

石本教育長

三隅出身のプロキックボクサーである。

藤本委員

次に4月15日、上府自治区公民館祝賀会とあるが、自治公民館と公立の公民館との大きな違いはどこであるか。

石本教育長

まず、この自治公民館という名称が浜田市内でも旧浜田市にしかない名称だと思う。公立の公民館は市が設置をして市が職員を雇って社会教育を推進することを行っているが、自治公民館というのは地域それぞれの自治会が、自治会の中の組織として、いわゆる公民館が行っている様な活動をされている。建物が無いところもあるが、建物が無くても自治公民館という組織があって例えば、自治会の中に女性部があり、子ども会があり、それと同じ様なかたちで自治会の中にある自治会の組織だと思っていただきたい。

藤本委員

そうすると、浜田市の全体の公民館連絡協議会、そういうのもあるのか。全体組織としての関わりはないのか。

石本教育長

全くない。

藤本委員

それともう1つ、先ほど4月29日に石見智翠館を視察されたということで、特に特進クラスを視察されたということ伺った。どうも私立は特進クラスを持っている。この4月に、ある私立高校の教科書の一覧表をいただいて見た。その高校が5クラスぐらいあって、そのうちの1クラスが特進クラス、あと4クラスが多少成績によって区分されている。教科書の一覧表を見ると、やはり、特進クラスの教科書は種類が多くて高い。そして格付けが違うところによっては教科書代がだんだん安くなっているということが、私立高校ではある。それが良いか悪いかといったら別の話だが、やはり、私立高校は個別化をしながらされていると今年初めて知った。

石本教育長

全国的にも私立の高校が、スポーツがすごく強い学校も、進学にも力を入れており、スポーツと進学に力を入れる両方の学科を持っている。

金本委員

大阪桐蔭とか智弁和歌山とか。

藤本委員

私立というのは生徒をいくら集めてどうというより、運営に関わってくるため、生徒の確保というのも公立とはより違った取組をされているというのが良く分かった。

石本教育長

校長先生にも、入学式の時に生徒の数で年間いくらお金が入ってくるかが分かるので、その範囲内で学校を運営しないといけないと伺った。ですからボーナスの支給も無い時期もあると話しておられた。また、その額をいくらにするかというのも入学式の日で決まるということである。

それぞれ1年生特進クラスが2クラスあると言ったが、これも

- 1年の途中で成績によってクラス替えをされている。優秀なクラスと、そうでないクラスと分けることで、また2年生の時には元いたクラスに戻ろうということで下の子も頑張る、そういった競争をさせているという様なことを言っておられた。
- 藤本委員 学期によって入れ替えがあるそうだ。特進クラスはない様であるが、残りの4クラスについては学期によってあると伺った。
- 宇津委員 石見智翠館高校の少人数のクラスであるが、以前浜田高等学校の校長であった三浦校長のときにそんな話が出て、「かける時間が全然違うので太刀打ちできない」ということをぼっともらされたことがある。時間をかけるということ、それから先ほど、少人数の良さをおっしゃったこのあたりが相当成果を出しているのではないかと思っている。
- 石本教育長 それから、もう1つは経営運営の話と絡まってくるが、先生方にしたら、死活問題である。それだけ生徒が集まってきて、受験者数が増え、収入も増えてくる訳である。これは公立の高校の先生が手を抜いてるという意味ではなくて、そこのあたりの危機感というか必死だという姿勢は、やはり学ぶべきところがある。
- おっしゃるとおりだと思う。特進クラス智翠館コースは生徒の机が違う。通常の机の2倍ぐらいの大きさの机であった。色々な参考資料がいつぺんに広げられるスペースになっている。椅子も良い椅子である。勉強する子は20時、20時半まで学校に残って勉強している。1日10時間も座っている子も何人もいるので1日10時間座る椅子は疲れがとれる良い椅子を使用していると言っておられた。
- 金本委員 その他はよろしいか。
- 石本教育長 中高一貫についてはどうか。
- 中高一貫については3月24日(土)に設置推進期成同盟会を行った。
- 金本委員 横浜の高橋先生が中高一貫校を開設した時の子どもが、今年初めて受験している。結果を出していた。
- 石本教育長 横浜南高校で中高一貫校初代の校長が高橋先生である。今年初めて大学入試をする子どもがいたが、東京大学にかなり進学した。
- 金本委員 国公立が50人ぐらい。
- 石本教育長 今まで東京大学には1人進学すればよかったぐらいだが、10人近く東京大学に進学しているのではないかと思う。全体的な学力がかなり上がっていると思う。ほとんどの生徒が英語検定2級を

取得しており、とにかくその高校では英語に特化した教育をしていて、そういった成果も出ると思った。

そういう成果も色々聞くが、今、島根県教育委員会では中高一貫教育に対しては少し控えめというか、思い切って取組むような雰囲気にはまだなっていない。そういった中でも浜田市の思いとして一応県の方には地元の声を伝えようとしているが、少し県の様子を確認しながら期成同盟会では話を進めている。期成同盟会とは民間の組織であるが、事務局を教育委員会が半分持っているので半分民間の様な、半分行政の様な、そんな立場で活動をしているが、市長の思いは変わっていない。ぜひ今後実現したいと言っておられる。

石本教育長  
委員方

その他は良いか。  
特になし。

## 2 議題

### (1) 公民館職員の選任について (資料 1)

村木課長  
(代理：古城係長)

公民館職員の選任について。資料 1 をご確認ください。金城自治区の雲城公民館主事に次の方を選任したいので、社会教育法第 28 条の規定により選任をお願いしたい。選任者については、金城町波佐在住の小林三千代さんである。以上である。

石本教育長

小林さんが今までどういうふうに関わっておられたか分かるか。

村木課長  
(代理：古城係長)

今までは特に直接公民館に関わられたことはないが、金城町内で 29 年間に渡り事務の経験があり、そういった「協調性、責任感を持って公民館に携わっていきたい」と志望の理由を確認している。

石本教育長  
村木課長  
(代理：古城係長)

承知した。53 歳であるか。  
そうである。

石本教育長  
委員方

ただいま、その様な提案があった。質問等あれば願います。  
特になし。

石本教育長  
委員方

選任でよろしいか。  
全会一致で承認。

石本教育長

ではその様願います。

### (2) 教育委員会学校訪問について (資料 2)

日ノ原係長

平成 30 年度教育委員会学校訪問について。目的は従来と変わっていないが、浜田市教育大綱及び浜田市教育振興計画に掲げた基本理念に即した教育行政の運営が行われる様、教育委員が学校経営・学校運営を見聞し、今後の教育行政の推進に意を用いるために行うものというかたちで例年行っている。

訪問について、2 の訪問対象校（園）だが、これまでと同様に全部の小中学校及び幼稚園を対象にしたいと思っている。実施時期については、5 月から 6 月までというかたちで書いているが、昨年度については 7 月 7 日から 7 月 14 日の間の 5 日間で小中学校を訪問させていただいている。幼稚園については、10 月 12 日、13 日の 2 日間で実施をさせてもらったところである。昨年度は、本当は 7 月 4 日、5 日で設定をしていたが、大雨の関係で延期となり、途中で 1 日入れたりと色々変更があり、そういう日程になっている。

先日、委員方には日程の関係を事前にお配りしているが、この後の会議で日程を調整させていただきたい。

一応今回考えている日程だが、7 月 4 日を始めとして 7 月 13 日までの間で行い、先に小中学校を訪問して、幼稚園については昨年度と同様であれば 2 学期での検討も併せてお願いしたい。詳しい日程調整は後ですが、まず幼稚園も 7 月の中で一緒にするのか、2 学期ですのか訪問日程で決めていただきたいと思います。

続いて、訪問時間については、これまでと同様に、1 校または一園あたり 50 分程度で考えている。

続いて、訪問者であるが、教育長、委員方、教育部長、教育総務課長、学校教育課長、総務企画係長の 9 名で検討していきたいと思っている。

意見交換のテーマであるが、過去の意見交換のテーマを平成 24 年度から平成 29 年度までのものを掲載している。平成 27 年度から小学校中学校ごとにテーマを変えて行っているが、例年でいくと学力調査の関係の自校採点の分析結果の部分の取組と、もう 1 つは何かという様なかたちで、大体 2 つ程度で行っているが、テーマもご意見いただきたく、ご審議をよろしくお願いしたい。以上である。

石本教育長

訪問者であるが、学力向上推進室長も入っているのではないか。

日ノ原係長 漏れている。大変申し訳ない。

石本教育長 学力向上推進室長も追加するように。

日ノ原係長 承知した。

石本教育長 幼稚園に訪問した時に「もっと早い時期に来てほしい」と言われたことはなかったか。

日ノ原係長 9月は運動会等もあって、結果的に10月になっているのかと思う。

石本教育長 色々要望するのにもっと早く来てもらわないと、その時に言われても遅い様なことを園長先生から言われた記憶がある。

日ノ原係長 課長、係長が今年度から変わっているため不明確であるが、引継ぎではそういうことはなかった。

石本教育長 それでは意見交換のテーマのところを、委員方にお伺いしたい。

宇津委員 小学校の英語の前倒しという話があるが、環境整備というか人為的な環境も、授業時数も含めて、それをどう図っておられるのか。また、どういう取組をしようとしておられるのか。特に小学校の先生方は中学校の様に教科制ではないので、先生方全員が英語が堪能かといったら、そうでないのではないかと想像できる。そうした時に、先生方をどの様に研修をしたりして授業力をつけていくのか。学校としても課題なのかなという気がしているので少し聞いてみたい。

石本教育長 もう一つは共通の問題であるが、学力向上の問題だろうと思う。これは避けて通れない問題である。

石本教育長 確かに従来は9月、10月辺りに校長先生方を集めて、学力向上について意見交換を委員方も含めて行っていた。ただ、そうすると取組が遅くなるので、10月よりも早くしようということで、この学校訪問に併せて学力向上の話をテーマとして取り上げる様になった。いずれかの段階では、必ず学校現場の先生方との意見交換をする場を持たなければならないので、学校訪問の機会に是非このテーマを残しておきたい。宇津委員が言われた様に、自校採点の分析結果に対して今後の取組については継続していきたいと思う。

石本教育長 それから英語の問題だが、確かに学校では今年から先行実施でやるわけであるが、どういった研修をするかということ、学校現場の独自の研修はもちろんあるが、市の教育委員会としてその辺りをどうサポートしていくか。市が主催とする研修はもちろんな

いといけないと思っているので、学校現場はどういった思いを、  
 どういった事をやってほしいと教育委員会に思っているのかを  
 伺いたいと思う。

牛尾室長 自校採点の分析結果であるが、今年度は自校採点を求めていな  
 いので、多くの学校は自校採点していないと思う。7月に結果が  
 返ってくるので自校採点はしない学校が多いと思う。

石本教育長 自校採点を今年は求めていないということか。  
 牛尾室長 求めていない。第三中学校から自校採点したいのでパスワード  
 を教えて欲しいと連絡があったが、他の学校からの連絡はないの  
 でおそらく自校採点はしない学校が多い。  
 なので、この段階ではまだ結果は返ってきていない。

宇津委員 毎年それは求めていて出てきたものか、それとも自主的に学校  
 がやっているのか。

牛尾室長 昨年度は求めた。  
 石本教育長 教育委員会が、毎年自校採点をしていただきたいとお願いをし  
 ている。元々は、県が自校採点をしてくださいというのがあるが、  
 8割ぐらいが自校採点できないと答えた。だが浜田市は、自校採  
 点を実施すると手をあげてやってきたが、県もそれをあまり強く  
 言わなくなって、確かに現場でお金がかかるのでやめましよう  
 ということになった。今年度自校採点をお願いしていないことは、  
 私は正直確認をしていなかった。では、全国学力調査の自校採点  
 は無理にしても、昨年県の学力調査の分析を各学校でおそらく  
 しているので、それに基づいた取組があれば紹介していただく  
 ということよろしいか。それならできるか。

牛尾室長 それならできる。  
 石本教育長 それでは、1月末に12月にあった学力調査の結果が出ている  
 ので、それに基づいた対応、学力向上全体の取組でどういったこ  
 とをされているかという内容でどうか。

各委員 良い。  
 石本教育長 基本的には自校採点を今後も求めないという方向であるか。  
 牛尾室長 7月に結果が返ってくるためしないと思う。  
 石本教育長 15日から20日の間である。  
 牛尾室長 これを受けて校内で分析をしてもらう。  
 石本教育長 全国学力調査の分析結果だが、何かの機会に各学校から新たに  
 報告をってもらう。また検討する。

石本教育長 その他はよろしいか。

委員方 石本教育長	特になし。 では、学力向上対策の関係と、先ほど宇津委員からご意見のあった小学校の英語の教科化であるが、それに対する取組状況、それからどの様に環境を整えていくかということの二本立てで学校側にはお願いし、あとは自由な意見交換で進めていくことによるしいか。
藤本委員	二本立てで良いが私個人の意見として、いじめ等の関係と問題行動への対応、そういったものを「どの様に学校として全員で共通理解を図って取組んでおられるのか」といった様な問い掛けをしようかと思っている。どこの学校に言っても同じ様なことを言うかもしれないが。
石本教育長 藤本委員	おそらく毎年聞いていただいている。 色々と耳に入ってくる。それは私のところに内緒で入ってくるのであって、学校としてそういうことは実際把握されているのか疑問でもあり、把握するためにどの様な心掛けでおられるか伺いたい。
石本教育長 藤本委員	承知した。 項目にはなくても良いが、やはり、いじめ問題と学力向上とは全然違う次元の話であるが、大きな問題だと思っている。やはり絶えずそれに関わる心構えというものがないと、どうも起きている。特に最近教室の中での陰口が多いと聞く。これは当然いじめ問題に当たるわけだが、学校の先生がどこまで把握しておられるのか疑問に思っている。
石本教育長	いじめの関係で年間トータルした数字がある。一覧表で、具体的に今言われた様に一連の項目が色々と書いてある。取扱い注意になるが、それを委員方にお配りをして、こういった実態があるということを知っておいていただく必要がある。
藤本委員	特に入学式における告示の中に「自分が言われたり、されたりして嫌なことはだめ」とある。入学式であれば、新入学児童生徒だけというイメージがあるが、ここの部分はそうではない。全員であるという様な言い方をしている。絶対なくならないと言う事にはならないかもしれないが、極力両方おきないように。
石本教育長 日ノ原係長 石本教育長 古森課長	承知した。その辺のところも含めておく。 はい。 テーマに取り入れさせていただく。 小中学校共にでもよいか。

藤本委員 石本教育長 藤本委員	<p>良い。</p> <p>その他はよろしいか。</p> <p>昨年の反省会で、昨年は多い時に1日に6校か7校というケースがあり、行ったら子どもがいないというケースがあった。子どもがいない時に行っても寂しい気がするので、それは教育長の日程や学校の都合もあって中々調整が難しいというのもあると思うが、6校、7校というのはハードではないか。理想は5校程度かもしれない。ただ、中々それが組めないということであれば、6校7校になるかもしれないが、やはり学校に行ったら、子どもがいるというのが理想だと思う。</p>
石本教育長	<p>6校行く場合、6校目は中学校でないと小学校に行ったら授業が無い。授業を見るのも1つの目的だと思う。</p>
藤本委員 石本教育長 藤本委員 石本教育長 日ノ原係長 石本教育長	<p>そうである。</p> <p>そうすると、5校だったら午前中に3校まわれるか。</p> <p>それは全然問題ない。</p> <p>その辺のところを考慮しながら日程を調整するように。</p> <p>承知した。</p> <p>それでは実際の日程調整については後から行う。全体的なこと で他にあるか。</p> <p>先に授業を見て、後で話し合いをするのと、先に話し合いをして、後で授業を見るのでは先に授業を見る方が良いか。</p>
藤本委員 石本教育長	<p>その方が良い。</p> <p>基本は、先に学校の中を見せていただくが、ここであまり時間をとると話し合いの時間が短くなるが、後から話をするということ でよいか。その時に、休憩時間との関係で後だ先だという話が 現場から出るが、その時は臨機応変に対応することにした い。</p> <p>基本的にはこの計画案にある様なかたちで進めさせていただ いてよろしいか。</p>
委員方	<p>全会一致で承認。</p>

### 3 部長・課長等報告事項

佐々木部長	<p>平成30年6月 定例会日程（見込み）（資料3）</p> <p>6月の定例会の会議予定ということで表にまとめている。この6月12日（火）が一般質問の締め切りとなり、議会そのものは6月18日（月）から始まる。最後は7月3日（火）が表</p>
-------	---

決の予定ということである。ご参考にいただければと思う。以上である。

古森課長

平成 30 年度公立幼稚園園児数一覧表（資料 4）

先ほど話が出ているが、公立幼稚園の園児数についてである。まず原井幼稚園について、一番右側のところを見ていただいて、平成 30 年の合計人数が 2 人、昨年度が 13 人であった。石見幼稚園が 34 人で、昨年度が 42 人、長浜幼稚園が 27 人で、昨年度が 26 人、美川幼稚園が 16 人で、昨年度も 16 人で変わらず、合計が 79 人で昨年度が 97 人から 18 人減で、一昨年の平成 28 年度は合計 121 人ということで 121 人から 97 人になり、79 人になりというところで、2 年間で 42 人減っている状況である。先ほど話をした原井幼稚園に関しては、年長 5 歳児が 1 人と特別支援の子が 1 人、これも年長の子であり、最後の 1 年間は 2 人で、来年度に新しい入園者がいなければ在園者 0 という状況になる可能性がある。

古森課長

行事等予定表（資料 5）

来月の行事予定表である。委員方に出席していただく関係については、5 月 24 日にある小体連陸上大会、それから定例教育委員会を 5 月 29 日に予定している。この 2 つについて、まだ小体連からは案内は来てないが、例年案内がくると思うので、ご都合のつくところでよろしくお願ひしたい。

湯浅室長

（代理：曾利係長）

第 1 期公共施設再配置実施計画に係る施設の進捗状況等について（資料 6）

前回の定例会において、教育部の所管施設の一覧ということでお示しをさせていただいたが、この度はそのうち、第 1 期の再配置計画に該当する施設について、進捗状況等の報告を行う。

まず、1 公共施設再配置実施計画について、今後 40 年間、平成 67 年度まで見据えた「浜田市公共施設再配置方針」に基づき、新行財政改革大綱実施期間、これが平成 28 年度から平成 33 年度までの 6 年間であるが、これに併せて第 1 期公共施設再配置実施計画が策定をされたところである。よって、この計画も平成 28 年度から平成 33 年度までである。これ以降、新行財

政改革大綱実施期間に併せて、第1期以降、平成34年度以降の計画が策定をされていくことになる。

次に、2第1期公共施設再配置実施計画の対象施設についてであるが、第1期の実施計画については平成27年度4月1日を基準の時点として、その時点で市が保有しているハコモノ施設のうち、以下の囲みの中の①から④に該当する施設を対象とする。①と②については、耐用年数のところで平成27度末の時点で既に耐用年数を迎えているもの、それから平成33年度の時点で耐用年数を迎えるものである。それから③については、各施設において各施設ごとの今後の方針をどの様にしていくのかを示しており、その方針が廃止、民間移管、民間譲渡、入居者譲渡の方針である施設となる。それから④については、耐用年数を待たずとも前倒しで統廃合や複合化を検討する施設、これは各担当者の判断によるところで挙げてもらっている施設が対象の施設になるところである。

3教育部所管の対象施設だが、教育部所管施設のうち第1期計画に係る施設については以下の表のとおりになっているが、この表の計画内容等の欄については、当初示された内容を基に、関係課へ3月にヒアリングを実施している。その結果を整理し、現在の進捗状況や見通し等について記載をしているところであり、ご覧いただければと思う。

教育総務課の所管施設については、主に小中学校のところが挙がってきている。次に、生涯学習課の所管施設については、主に公民館、公民館の分館が挙がっている。次に文化振興課の所管施設については、主に資料館といったところである。以下、中央図書館、金城分室がそれぞれ1施設挙がっている。

最後に、現状のまとめとして記載しているが、各関係課が所管する施設について計画のとおり完了したものや、一定程度の整理が図られている施設もあるが、幼稚園においては園児数の動向の見極めによる適正規模の検討や、公民館分館の地元譲渡においては維持管理の問題、また資料館関係では、新施設の動向に左右されるなど、流動的な問題を抱える中で停滞状況にある施設もある。

当室の役割は、行財政改革の推進であることから、施設の適正な配置・再編と同時にランニングコスト面や有効利用の手法なども担当課と探りながら、多面的に考えることで進捗を図る

ことも必要ではないかと考えている。

市原課長

平成 30 年度 学校職員名簿 (資料 7)

平成 30 年度の学校職員名簿を作っている。4 月 3 日に辞令交付式を行い、転入者は 60 数名おられた。校長先生、教頭先生のところでは校長先生は 10 名の方が転入とか転補で変わっている。教頭先生、主幹教諭については、6 名の方が転入、転補で異動となっているのでご覧いただきたい。

市原課長

平成 30 年度 学校別児童生徒数一覧表 (資料 8)

これについては、児童生徒数一覧ということで、表が小学校、裏に中学校を載せている。裏面の一番下のところに、小学校、中学校を足した児童生徒数が 3,876 人で、昨年度の 3,937 人比べて 61 人の減になっている。毎年人口減少と共に児童生徒数も減ってきているという状況である。

牛尾室長

平成 29 年度 学力向上総合対策事業実績報告書 (資料 9)

まず 1 ページをご覧いただきたい。家庭学習ノートコンテスト 3 事業評価の 2 行目辺り、平成 29 年度も前年度同様、自主的に学習したものだけでなく、宿題として取組んだものも応募対象とした。

各校の取組が積極的になっており、小中学校での交流も行い、ノートの紹介も行う校区も出てきた。例えば二中校区では、小中連携教育の一貫で、それぞれ優秀なノートを各学校に回して、子どもたちがそれを見て参考に出来る様にとという取組をしている。

2 ページをご覧いただきたい。学習プリント配信システムということで、当初、東京書籍のデータベースを使い、学習プリントを配信して、家庭学習や、補充学習に活用をしている。3 事業評価の 4 行目、児童生徒一人当たりの平均印刷枚数は約 89 枚となっている。それから、次の表であるが、一学級当たりの学習プリント配信システムへのアクセスが 51.6 回ということで、これは昨年度よりも大幅に活用が増えていて、各校での活用の高まりがある。今年度であるが、県が全ての配信システムを打ち切った。しかし、配信システムの活用がとても良いということで、市の予算を使い、国語、算数、数学、英語のデータ

ベースを使って活用できる様にしている。

3 ページのコア・ティーチャーの育成である。いわゆる先進校、福井市への視察研修である。昨年度6月19日から23日の一週間、3名の教諭が参加している。帰ってきてから授業公開、報告会を行った。

3 事業評価の2行目、福井県の教育を語る際のキーワードとして「凡事徹底」が挙げられた。どの先生も帰ってきて言われたことが、当たり前のことを当たり前でできる様に徹底的に行っている。掃除も黙ってやることを徹底して、小学校、中学校も行っていた。特別のことではなく、当たり前のことを当たり前でできるようにするために、全ての教職員が組織的に動いていると、この研修に行かれた方が帰って来られて報告をしている。実は、報告会に参加する市内の教員があまり多くいない。そこに参加することで、福井の良さを学んで広げている。

4 ページをご覧いただきたい。スーパーティーチャーによる教員研修である。授業の名人と呼ばれる講師に来ていただき、授業公開をして、この授業を基に講義等していただくという研修であり、大変人気がある。昨年度は、7月21日に藤田先生という方に来ていただき雲城小学校で4年生の国語の授業をしていただいた。

3 事業評価のところに、100名を超え114名の教職員の参加があり、終了後のアンケート等からも「非常に参考になった」という意見が多く、良い授業を見るということが一番の研修になると思った。体育館で授業公開し、100名を超える教職員が毎年研修をしている。今年度だが、講師の先生が決まった。まず、5月16日に今福小学校で算数、筑波大学の先生が来られる。夏休みに入ってすぐになるが、7月23日に森ノ宮医療大学の阿部先生が来られて国語の授業をしていただくことが決まっている。次の7月24日、環太平洋大学の前田先生に算数、数学の授業をしていただく。この後出てくるが、算数、数学の研究指定校で、ずっとアドバイザーになってもらっている先生であり、7月24日算数の授業公開をして、研修ということで、今年度3回スーパーティーチャーによる教員研修を既に予定している。

5 ページである。協調学習、いわゆる新しい学びプロジェクトということで、浜田市がかなり研修を重ねてきている。

7 ページをご覧ください。研修だけでなく、協調学習研究指定校というのを設けているが、昨年度は金城中学校が指定校となった。この金城中学校で、国語、数学等の授業公開を行っている。今年度であるが、金城中学校が継続して行い、そして旭中学校が新しく研究指定校として手を挙げられている。中学校においてこの協調学習は大変有効であるということで、昨年度にかなりの取組が出てきている。一方的に教える授業よりも遥かに、主体的で対話的な深い学びに近づく授業であると思っている。ただ小学校では、以前からそういう対話的な授業をしていたため、小学校では中々広がりは見られないが、今、中学校では2校指定校を受けてやっているのだから、広がっていけば中学校の授業改善になると思っている。

8 ページをご覧ください。算数、数学の研究指定校である。先ほどお話をさせていただいた、今年度、授業をしていただく前田一誠先生だが、環太平洋大学の准教授である。昨年度から指定校を設けて、雲雀丘小学校と第二中学校を指定校として研究を進めている。ここに事業内容がある様に、7回の報告をしていただいて、継続的にその学校に関わって、指導していただくということで、教職員の授業力も向上してきており、指定校の学力も向上傾向にある。ここの授業公開も、市内の先生が見に来ておられるので、少しずつ広められたらと思っている。今年度も継続して行い、雲雀丘小学校、そして第二中学校が指定校として2年目となる。

9 ページである。学校図書館活用教育研究指定校、これも4年目を迎えて昨年度は美川小学校、国府小学校でそれぞれ2回の公開授業をしている。事業評価として、11ページの中ほどのところをご覧ください。この4年間で研究指定を受けた6校の学校図書館活用授業の回数を見ると、原井小学校は年間345時間、松原小学校396時間、国府小学校506時間、三階小学校413時間、弥栄中学校108時間、美川小学校は指定前であるが、408時間ということで、これが松江市等の、平均時数を超えている。研究指定校を終えた後も、継続しており、学校図書館活用が定着してきたと伺える。昨年度の学力調査は、国語がかなり伸びていた。大きな要因は、図書館活用教育の継続にあるのではと思う。中々すぐに数字は出ないが、継続していくことが力になっていると感じている。

12 ページをご覧ください。今後の課題ということで、児童の実態に合わせて活動内容を精選し、集めた情報を読むのではなく、伝えることができる様に今後研究を続ける。今は国語が中心であるが、国語だけでなく、他の教科でも積極的な活用がなされる様に年間指導計画の見直しが必要である。他の教科、例えば社会なども、年間指導計画は立てているが、より充実させれば良いと思う。それから、中学校での図書館活用教育をさらに広げるために、弥栄中学校で作成された計画を参考に、司書教諭とともに取組に繋げていく。中学校では、教科指導制、教科担任制ということもあるので、中々それも広がりにくい。弥栄中学校の取組は、博報賞を受賞しているので、それを各中学校に広げると、充実した授業になると思う。

それから、学びの土台づくりとして積極的に発達段階に応じた読書指導を行い、読書が日常化していく取組を考えていく必要がある。一番最後のところであるが、また課題としてあとで紹介する。

図書館活用の研修も行っている。15 ページ下をご覧ください、先ほどの情報活用、図書館活用する事業であったが、この15 ページの下から3行目、いわゆる読書に関するものである。一方、教育推進計画であるが、数値が上がってきているが、平日の読書時間30分以上の児童生徒の割合の項目について、平成33年度までの目標値は、小学校37.7%、中学校30.6%となっているが、まだ目標値には達していないということである。この表3について、これが平成23年度からの読書時間30分以上の児童生徒の割合であるが、平成29年度が小学校6年生29.1%で目標値の37.7%にまだ届いていない。それから、中学3年生は28.5%で目標値の30.6%に届いていない。

読書指導、いわゆる読書に親しむ子どもたちが案外伸びていないという課題が見えてきた様に思う。図書館活用とともに、読書指導が基盤になる様な力を育てていくことが課題として見えてきた。

それから、18 ページの浜田市図書館を使った調べる学習コンクールであるが、19 ページの(3) 全国コンクールに推薦された作品の中で、中学校の部で奨励賞を受賞した生徒が出てきた。そういう作品が出てきたということで、レベルも上がっていると思っている。それから、地域コンクールの優秀活動の団

牛尾室長

体として、浜田市が「図書館を使った調べる学習活動賞」を受賞した。これも組織的に継続してきたことが評価されたと思っている。これまでのところが学力向上総合対策事業の1つである。

平成 29 年度 浜田市小中連携教育実践記録集（資料 10）

続いて、小中連携教育である。これについて、全ては紹介しきれないが、平成 28、29、30 年の 3 年間のスパンとなって、今年度が 3 年目になる。

2 ページ、3 ページをご覧ください。小中連携教育、歴史を積み重ねて小中連携教育が目指すものというかたちで枠の中にある 4 つのことを目指している。①生活習慣づくり②学ぶ意欲を育てるとのこと③学校不適応を考慮し、変化に対応できる子どもの子育て④ふるさとを愛し、ふるさとを誇りに思う子どもの子育てを各中学校区で取り組んでいる。その評価の 1 つとして、全国学力学習状況調査の報告を挙げている。

4 ページの表をご覧ください、この表の項目に挙げられているものが、浜田市の教育振興計画の中での数値目標として挙げられているものである。「2 時間以上テレビゲームをする子どもの割合」について平成 33 年度の数値を目指している。小学校は平成 29 年度で大幅にクリアしている。

次に、「普段 1 日あたり 1 時間以上家庭学習をする子どもの割合」について、他の市と比べると多いとは言えないが、平成 29 年度に小中学校ともに平成 33 年度の目標値をクリアしている。

次に、「自分には良いところがあると思っている子どもの割合」であるが、これはまだ目標値に達しておらず、上がったたり下がったりしている状況である。

次に、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている子どもの割合」である。とても必要な項目だと思うが、実は平成 28 年度からこの項目が消えているので、確かめられない。

それから、「総合的な学習の時間で学習したことが普段の生活に役立つと思う子どもの割合」であるが、平成 29 年度に項目が消えている。

最後の項目であるが、「総合的な学習の時間に、自分で調べた学習に取り組んでいると思う子どもの割合」が、小学校が

長見所長

(代理：有福副参事)

72.6%で中学校が 71.9%であり、平成 33 年度の目標値を超えている。よって、昨年度の段階でかなり目標値に達しており、頑張っていると見受けられる。その反面、消えている項目や変わっている項目もあるので、推進委員会等で現場の校長方とまた相談をして、評価できる項目をまた検討する。

以下は、それぞれの中学校区で先ほどの小中連携教育が目指す子どもたちを目指して取組が行われている。読んでみると目指している方向は同じであるが、色々な方法をとっていると感じ、色々情報交換をして更に充実させていきたいと思っている。以上である。

青少年サポートセンターの利用状況について（資料 11）

青少年サポートセンターの平成 29 年度の利用実績について報告をさせていただく。

まず一項目目、延べ相談件数である。平成 29 年度は合計で 1,040 件の相談を受けている。平成 28 年度も載せているが、1,023 件から少し延びているがほぼ横ばいという状況である。

相談対象人数であるが、平成 29 年度末の時点が、合計で 94 名であった。平成 28 年度末が 114 名であるが、年度が替わった時点で既に他の関係機関に繋がった方、あるいは就職等で支援が必要となくなった方、転出とかそういった方を除外して、年度当初 78 名の方を対象としていた。年度途中で 16 名の方が新たに加わり、平成 29 年度末では 94 名ということになっている。

次に若年無業者の状況である。これは学校、あるいは職業についていない方の状況であるが、35 人のうち、引きこもりの方が 25 人、それから引きこもりではないが仕事に就いていない方が 10 人という状況である。

最後に居場所の部屋別の利用状況である。利用人数であるが、平成 29 年度が 767 人で 1 日の平均利用人数が 3.19 人という状況である。ちなみに、平成 28 年度が 836 人で 1 日の平均利用人数が 3.50 名であった。

実は、平成 29 年度は現在の北分庁舎の 1 階に居場所を設置していたが、途中から北分庁舎の工事が入ることから旧図書館へ移動して、また 1 月から、この北分庁舎の 2 階へ移り、居場所が転々とした。また部屋割りについても、こちらで区分けを

しているが、同じ部屋の状況ではないので単純に比較が出来ない状況である。以上である。

外浦課長

石正美術館「石本正のアトリエ」について

石正美術館「石本正のアトリエ」について追加報告をさせていただきます。故石本正先生の業績を後世に遺していきたいといったご遺族の強い思いを受け、多大なご支援を受けて完成をしたところである。昨年12月から今年の3月末までの期間、床の色、レイアウト等の改装工事を行った。アトリエの写真に掲載しているが、画材等も並べているため、石本正先生の姿を感じていただける様な部屋作りとなっている。このオープニングセレモニーを、4月28日(土)に行う予定である。簡単であるが以上である。

村瀧室長

島根県同和教育推進協議会連合会第118回研究集会(資料12)

浜田市が持ち回りで事務局を持っている、島根県同和教育推進協議会連合会第118回研究集会を5月10日午後、ふれあいジムかなぎにて開催をする。

内容については、市民グループめばえの会の活動報告、そして「部落差別解消推進法が施行～どんな法律?なぜできたの?～」と題し、近畿大学人権問題研究所教授、奥田均さんにご講演いただく。

奥田先生は一昨年、三隅町で開催された、県人権教育夏季研修において「道祖本事件(1985年)から30年、差別の現実から深く学ぶ」と題し講演をされ、事件に直接関わっておられた、経験に基づくお話をいただいている。そして、本年2月にも浜田市でご講演いただいた中で、一昨年12月に施行されたこの法律であるがここ2、3年が法周知を図る正念場であるというふうに学んだところである。

浜田だけでなく、県内の関係者にもお集まりいただくこの機会に、再度先生にご登場いただきお話いただくこととなった。前回、とても分かりやすいお話だったと好評をいただいた講演会である。たくさんの方にご来場いただき、ともに学び人権感覚を育んでいきたいと考えている。以上である。

石本教育長

以上資料のあるところについては報告いただいた。資料がな

各課長	い課で報告事項等あるか。
石本教育長	特になし。 今、部課長方から資料 3 から 12 までの報告があった。これについて質問等あるか。
石本教育長	質疑応答 先ほどの資料 4 で、原井幼稚園の 1 年保育（5 歳児）の定員が 10 名になっているが、10 名であるか。
日ノ原係長	3 歳、4 歳、5 歳児の 3 クラスの混合クラスというかたちに今年度はしている。
宇津委員	それとの関連であるが、原井幼稚園の昨年度の在籍数は何名か。
古森課長	13 名である。
宇津委員	現実に 2 名に減ったという背景というか、何があつてそんなに減ったのか。
古森課長	まず、通常に小学校入学者、卒園者が 8 人、残りが 5 人いるが、途中で一人増えて 6 人になり、そのうち平成 30 年度の年長児が 4 人の予定だったが、少人数になってしまうということに若干不安を持たれて、子どもの多い園へ転園したいということで、4 人が長浜幼稚園と石見幼稚園へ転園している。年長児 2 人については支援がいる子どもさんなので、今そのまま残っているといった状況である。
石本教育長	石本正先生のアトリエであるが、本箱等は京都のアトリエにあったものをそのまま持ってきて設置をしていたが、本や、書きかけの画、イーゼルだとかは全然ないため、綺麗であるが、実際にそういったものが並んだら、もっとアトリエに近くなる。前はアトリエの様な感じがしなかったが、今は色々な画材、収蔵、蔵書等も並べられて、アトリエに近いものにしておられる。 改修経費であるが、12,377 千円であるか。12,000 千円ではないか。
外浦課長	これは他の設計の委託料等も含めた金額である。
石本教育長	寄附をいただいたのが 12,000 千円か。
外浦課長	そうである。
藤本委員	資料 12 にある、部落差別解消推進法についての講演会であるが、島根県同和教育推進協議会であるということは、県内各地から来られるのか。

村瀧室長	県内 18 市町村の行政関係者及び運動団体や教職員の方が参加される。
藤本委員	結構な人数に恵まれる。
村瀧室長	はい。午前中に総会を予定しており、総会のところで 100 人弱を想定している。その後の、講演会には 200 人から 300 人の方に来ていただきたいと思っている。
藤本委員	午後の講演会はオープン参加ということでよいか。
村瀧室長	そうである。
石本教育長	是非、お願いしたい。
	これについては、職員に動員をかけるか。
村瀧室長	研修参加要請をする。
石本教育長	資料 9、10 であるが、毎年、学校教育課で資料を作っていたいている。学力向上の全体の事業であったり、小中連携教育についても良く分かって、すごく参考になる資料だと思う。作られるのに大変手間がかかったと思うが、立派な資料を作っていて、大変喜んでいる。各課長方も他の課の業務にはなるが、時間がある時に、しっかりと目を通していただきたいと思っているので、よろしくお願いしたい。
石本教育長	その他はよろしいか。
委員方	特になし。

#### 4 その他

##### (1) 各課の年間スケジュールについて (資料 13)

日ノ原係長	平成 30 年度の各課の年間スケジュールを、教育総務課から三隅分室まで各課ごとに載せている。その中で、委員方にご出席いただきたいものについては丸印をつけているので、年間計画の参考にしていただきたい。また、ご一読いただけたらと思う。以上である。
石本教育長	各課の年間計画を提出していただいた。それぞれ委員方に出席していただく会議や行事等について記載してあるため、既に日程が決まっているところについては、日程確保等よろしくお願いしたい。
石本教育長	その他はよろしいか。
委員方	特になし。

##### (2) その他

藤本委員	昨年卒業式の最中に思わしくない光景があったが、今年は見たり聞いたりはなかったか。
石本教育長	昨年言われた様なことはなかったが、途中、立ち上がって写真を撮られる姿があった。昨年の様なことはなかった。少なくとも、私は気がつかなかった。
藤本委員	昨年、間接的に注意をさせていただいた。
石本教育長	職員の方も卒業式等に出られる際は、そういった事のない様に気をつけていただきたい。

次回定例会日程

定例会 5月29日(火) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

次々回定例会日程

定例会 6月28日(木) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

15:20 終了